形の合わないプラグは、つながない。差すときは、奥まで

2026年11月号 ／ 汎用版

ご担当

担当の電気管理技術者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

この資料をお配りした電気管理技術者のお名前（ご記入いただくか、ゴム印をお押しください）

本号の掲載内容

1　注意喚起　**延長コードとプラグ、形と差し込みを確かめる**
体育館で、形の合わない延長コードにつないだプラグから感電し、入院した事故がありました。職場の延長コードでも同じことが起きます。

2　リコール情報　**リコールは、型番で確かめる**
経済産業省のリコール情報のページで、いつでも最新の一覧が見られます。QRコードから開けます。

3　確認　**職場でできる、電気のチェックシート**
朝礼や安全会議で、そのままお使いいただけます。

1 ／ 注意喚起

延長コードとプラグ、形と差し込みを確かめる

2026年10月24日、北九州市の市立体育館で、10代の男性が**電動のバスケットゴールを片づけている最中に感電**し、病院に運ばれました。

目立ったけがは無く、**念のため4～5日の検査入院**になったと報じられています。

ゴールのプラグは**アース付きの3ピン**、施設が貸した延長コードは**2穴**でした。

プラグが奥まで入らず、**むき出しになった金属の刃に触れた**とみられています。

3ピンのプラグは、パソコンや医療機器、業務用の機械など、**職場にも少なくありません。**

体育館だけの話ではありません。

コンセントまわりの、4つの落とし穴

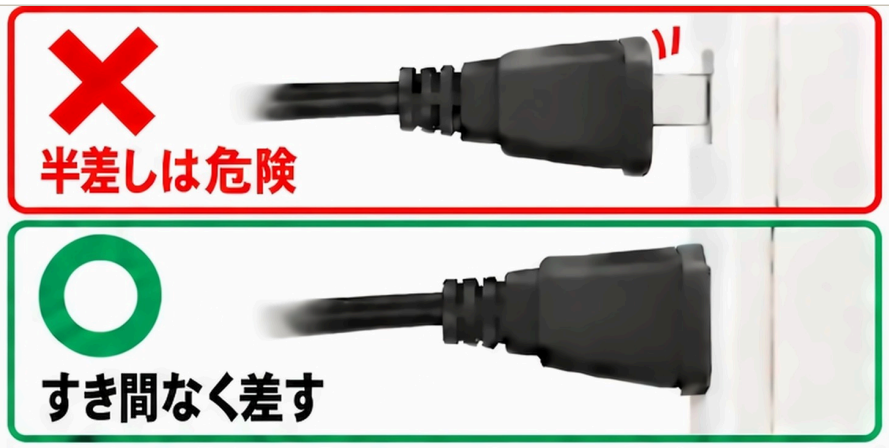
01 形が合わない



アース付きの3ピンのプラグを、2穴の延長コードやコンセントに無理に差さないでください。
奥まで入らず、金属の刃がのぞいたまま電気が通ることがあります。
アースのピンを折ったり曲げたりするのも、やめてください。

アースは、機械の中で漏電したときに、電気を人ではなく地面へ逃がす道です。
2穴につなぐと、その道もつながりません。**形が合わないのは「つながないで」という合図です。**

02 奥まで入っていない



プラグとコンセントのあいだに、すき間はありませんか。
金属の刃が見えていたら、そこには電気が来ています。指や金属が触れると感電します。

すき間にはほこりもたまり、発熱や発火（トラッキング現象）の原因になります。**差すときは奥まで。**
プラグがゆるくて抜けかかるコンセントは、使わずに、社内の電気ご担当者へ知らせてください。
壁のコンセントの取り替えは、電気工事士の資格が要る工事です。

03 子どもの手が届く



お子さまが出入りする職場（福祉施設・店舗の売り場・待合など）では、
低い位置のコンセントに気をつけてください。
消費者庁と国民生活センターの「医療機関ネットワーク」には、
2021年4月から2026年7月までに、15歳以下の子どもが
コンセントなどで感電・やけどをした事故が38件寄せられ、**うち8件は入院が必要でした。**

いちばん多かったのは、差込口に**ヘアピンや針金などを差し込んだ事故（28件）**です。
使わない差込口にはコンセントカバーを。延長コードを床に出しっぱなしにしないことも大切です。

04 暖房器具と延長コード



電気ストーブやヒーターは、電気をたくさん使う器具です。
取扱説明書で、延長コードの使用を禁止しているものもあります。
できるだけ壁のコンセントに直接つないでください。

延長コードを使うときは、つなぐ器具の合計が、延長コードに書かれた「合計○○Wまで」を超えないように。
束ねたままや、物の下敷きにして使わないでください。
NITE が集めた2012～2016年度の事故では、
延長コードなどの配線器具の事故は、毎年12月から3月がいちばん多くなっていました。

※ 掲載の画像は、説明のために作成したイメージです。

気づいたら、この順で

1. **さわらない。**熱いもの、焦げているもの、濡れているもの、
   壊れて金属が見えているものには、手を出さないでください。

2. **使うのをやめる。**安全に操作できるときだけ、その機器のスイッチを切ってください。

3. **人に伝える。**社内の電気ご担当者へ。「いつ・どこで・どんな様子か」だけで十分です。

4. **担当の電気管理技術者へご連絡ください。**
   夜間・休日の連絡先も、ふだんから確かめておいてください。
   迷ったら連絡してください。空振りでも構いません。

人が感電したときは、まず電気を切ってください。プラグを抜く、ブレーカーを切る。
電気が切れるまでは、感電した人の体にさわらないでください。
助けに入った人も感電します。
意識がない、反応がない、呼吸の様子がおかしいときは、すぐに119番へ。
見た目のけがが小さくても、医療機関に相談してください。
感電によるけがは、皮膚の下の筋肉・神経・心臓に及ぶことがあり、
外から見ただけでは重さが分かりません。
北九州の件でも、目立ったけがが無いまま検査入院になっています。

ふだんから、できること

キュービクル（高圧受電設備）や低圧分電盤のまわりに、物を置かないでください。
扉が開けられないと点検ができません。
荷物、パレット、脚立、植木――**気がつくと置かれています。**
キュービクル（高圧受電設備）の中は、感電などのおそれがあり危険です。
開けないでください。扉を開けるのは、担当の電気管理技術者の役目です。
鍵の管理もお願いします。
低圧の分電盤は、キュービクルとは扱いが違います。
漏電遮断器が落ちたときの調べ方は、担当の電気管理技術者の案内に従ってください。
分からなくなったら、そこで止めてご連絡ください。

職場の延長コードとプラグを、一度ぜんぶ見て回りましょう。
形が合わないままつないでいるもの、奥まで入っていないもの、刃が曲がっているもの、
コードの被覆が破れているもの。
年末の大掃除のついでに、**プラグの根元のほこり**も取ってください。
延長コードを貸し出したり、行事で用意したりする職場では、
貸す前に、つなぐ機械のプラグの形と、
延長コードの差込口の形が合っているかを確かめてください。
3ピンのプラグには、アース付き（3穴）の延長コードを。

電気管理技術者は、どう見ているか

電気管理技術者は、定期点検でお伺いしたときに電気設備を見ています。
見るところは、ご契約の内容によって違います。**遠隔監視装置で停電や漏電などを見ている設備もあります**（付いているかどうかは、担当の電気管理技術者に確かめてください）。

ただ、**遠隔監視装置が付いていても、コンセントの焦げやコードの熱までは分かりません。**
そこは、皆さまの目と鼻と耳が頼りです。
見た目・におい・音がいつもと違うときは、触れずに使うのをやめて、知らせてください。

2 ／ リコール情報

リコールは、型番で確かめる

職場で使っている機械や家電が、
リコール（回収・無償修理など）の対象になっていることがあります。
見た目やメーカー名だけでは、対象かどうか判断できません。
製品の型番や製造番号を、メーカーの対象一覧と照らし合わせてください。
使っていない保管品も確かめましょう。

リコール情報の調べ方	2026年11月1日確認
経済産業省「リコール情報」（製品安全ガイド） https://www.meti.go.jp/product_safety/recall/index.html	
QRコード	読み取ると、経済産業省のリコール情報のページが開きます。
見られること	新しく公表されたリコールが、**日付の新しい順**に並んでいます。製品の種類ごとの一覧もあります。 **赤い字の製品は、重大製品事故がきっかけのリコール**です。 対応が変わった件（使用中止への変更など）は、最初の公表日の位置に「対策内容更新」と書き足されます。お手元の製品は、製品の種類ごとの一覧でも確かめてください。
気をつけること	このページに載るのは、主に**家庭などで使う製品（消費生活用製品）**です。 業務用として売られた機械は載っていないことがあるので、メーカーや設置した業者に確かめてください。 **最新の対応は、メーカーの案内で**確かめてください。

型番は、見える所のラベルで控えておきましょう。分からないときは、購入した店や設置した業者に聞いてください。

3 ／ 確認

職場でできる、電気のチェックシート

朝礼や安全会議で、そのままお使いください。**「いいえ」が付いたところが、直せるところです。**

3ピンのプラグが、**形の合う**延長コード・コンセントにつながっている	□はい　□いいえ
プラグが**奥まで**差し込まれていて、金属の刃が見えていない	□はい　□いいえ
プラグがゆるくて**抜けかかる**コンセントがない	□はい　□いいえ
コンセントやプラグの根元に、**ほこり**がたまっていない	□はい　□いいえ
電気ストーブやヒーターを、**壁のコンセントに直接**つないでいる	□はい　□いいえ
延長コードを**束ねたまま**使っていない	□はい　□いいえ
コードが**踏まれる場所・物の下**を通っていない	□はい　□いいえ
お子さまが出入りする職場では、低いコンセントの使わない口に**カバー**がある	□はい　□いいえ
貸し出す延長コードは、**つなぐ機械のプラグと形が合うか**確かめている	□はい　□いいえ
夜間・休日の**緊急連絡先**が分かるところに貼ってある	□はい　□いいえ

「いいえ」が1つでもあれば、それが今月の課題です。

形の合わない接続、破損、焦げなど危険な状態は、**すぐに使うのをやめてください。**

そのほかは、社内の電気ご担当者と優先順位を相談して直しましょう。

SOURCE ／ 出典

リコール情報の調べ方(2):経済産業省「製品安全ガイド／リコール情報」
https://www.meti.go.jp/product_safety/recall/index.html(2026年11月1日に確認)
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

北九州市の体育館での感電(1):KBC九州朝日放送・TNCテレビ西日本(2026年10月26日)、RKB毎日放送、NHK(2026年10月27日)などの報道
https://news.web.nhk/newsweb/na/nd-20261027de66426(2026年11月1日に確認)
感電の原因は、報道の時点で「〜とみられる」とされているもので、確定したものではありません。

子どもの感電・やけど、感電したときの対応(1):独立行政法人国民生活センター
「コンセントまわりの安全対策を見直しましょう－子どもの感電や熱傷を防ぐために－」(2026年10月21日)
https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20261021_1.html(2026年11月1日に確認)
件数は、医療機関ネットワークに寄せられたものです(全国のすべての事故の数ではありません)。

暖房器具と延長コード、差し込みとほこり(1):独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)
「冬場の安全な暮らしのために〜延長コードやテーブルタップの正しい使い方〜」(2018年1月25日。事故の多い時期は2012〜2016年度の集計)
NITE 製品安全情報マガジン Vol.488「暖房器具の事故」(2025年11月11日)
https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/press/2017fy/prs180125.html
https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/mailmagazin/2025fy/vol488_251111.html
(いずれも2026年11月1日に確認)

本資料は、上記の公表資料をもとに、**事業場でお使いいただくために北村電気管理事務所が編集・執筆したもの**です。原文の転載ではありません。**掲載の画像は実際の現場写真ではなく、説明のために作成したイメージです。**

この版は「汎用版」です。電気管理技術者の皆さまが、ご自身のお客さまの保安教育にお使いいただけるよう、北村電気管理事務所だけに当てはまる書き方を「担当の電気管理技術者」に直してあります。
使っていただいてよいこと:印刷してお配りする／このPDFをメールなどでお渡しする／表紙の欄に担当の方のお名前を書く・ゴム印を押す。北村電気管理事務所へのご連絡や費用は要りません。
お断りすること:文章・図・写真を書き換えたり、一部を抜き出したりして配ること／ご自身のホームページなどにこのPDFを置くこと(ご紹介は、北村電気管理事務所のホームページの記事へのリンクでお願いします)。
内容やお手元の設備についてのご相談は、担当の電気管理技術者へお願いします。制作者(北村電気管理事務所)では、個別のご相談はお受けしていません。